

# 令和5年度 K I P 通常総会 次第

日 時 令和5年5月26日（金）14：30～

九州ヒューマンメディア創造センター マルチメディアホール

（北九州市八幡東区東田1丁目5-7）

## 1 開 会

## 2 議 事

### （1）議案1

規約の改正及び役員を選任

監事の定数に係る規約改正及び

理事・監事を選任について

### （2）議案2

令和4年度の事業報告及び決算について

会計監査について

### （3）議案3

## 令和5年度の事業計画（案）及び予算（案）について

### （4）その他

## 1 役員定数の変更について

北九州情報サービス産業振興協会規約第7条（3）には、監事 2名と定められている。この規定について、次の理由により 監事 1名 に改めるもの。

監事が行う、会計検査は預金通帳、領収書等の確認のみであり、一般に実施される監査としては最も軽易なものである。実質的には、KIP事務局と監事1名による監査で十二分に目的を果たしている。事務の簡素化を図るために改正を行うものである。

## 2 理事・監事の選任について

北九州情報サービス産業振興協会規約第10条1には、本会の役員任期は、2年と定められている。

本年度は、役員任期が終了するので、総会において新たな役員が選任される。

現在の役員名簿と役員候補予定一覧は次ページのとおりである。理事会で承認されたのち、通常総会において選任されるものである。

※ 規約第10条2には、役員は再任されることができると定められている。また、会長の任期については、2期4年という内規がある。）

## 役員を選任について（役員候補予定一覧）

北九州情報サービス産業振興協会規約には、役員を選任について次のように定められている。

第10条 本会の役員任期は、2年とする。ただし、任期内に退任した役員を引き継いだ役員

の任期は、前任者の残任期間とする。

2 役員は、再任されることができる。

現役員任期は、「令和3年度総会終了時から令和5年度総会終了時まで」である。よって改めて下記の名簿のとおり役員として選任するもの。

### 記

区分	氏名	役職
会長	庄司 裕一	株式会社ランテックソフトウェア 代表取締役
副会長	溝田 力三	ミシマ・オーエー・システム株式会社 代表取締役社長
副会長	矢野 宏之	リンクソフトウェア株式会社 代表取締役
理事	井上 真通	システムエース株式会社 代表取締役
理事	岩永 満宏	株式会社シスコム 代表取締役
理事	岡尾 悟	株式会社吉川システック 取締役
理事	竹原 順哉	九州NSソリューションズ株式会社 取締役 鉄鋼ソリューション事業部長
理事	松岡 信行	株式会社ソルネット 顧問
監事	清水 誠	株式会社日本統計センター 代表取締役社長

## (参考) 現在の役員名簿

任期（令和3年度総会終了時から令和5年度総会終了時まで）（役職・50音順、令和5年5月）

区分	氏名	役職
会長	庄司 裕一	株式会社ランテックソフトウェア 代表取締役
副会長	丸屋 諭	株式会社 YE DIGITAL Kyushu 代表取締役社長
副会長	溝田 力三	ミシマ・オーエー・システム株式会社 代表取締役社長
理事	井上 真通	システムエース株式会社 代表取締役
理事	岩永 満宏	株式会社シスコム 代表取締役
理事	岡尾 悟	株式会社吉川システック 取締役
理事	河原田 正武	株式会社ニシコン 取締役
理事	竹原 順哉	九州NSソリューションズ株式会社 取締役 鉄鋼ソリューション事業部長
理事	松岡 信行	株式会社ソルネット 顧問
理事	矢野 宏之	リンクソフトウェア株式会社 代表取締役
監事	麻上 俊泰	株式会社エーエスエー・システムズ 代表取締役
監事	清水 誠	株式会社日本統計センター 代表取締役社長

## 令和4年度 K I P 事業報告

### 1 理事会・総会の開催について

#### (1) 理事会

第1回:令和4年7月1日(金)

- ・令和3年度 事業報告及び収支決算について
- ・令和4年度 事業計画及び収支予算について

役員の選任

理事の交代について

吉川システック 権藤 拓 様 (退任)

〃 岡尾 悟 様 (新任)

※岡尾様の任期は、規約により令和5年度の通常総会まで

#### (2) 通常総会

令和4年7月7日(木)

議 案:

- ・令和3年度 事業報告及び収支決算について
- ・令和4年度 事業計画及び収支予算について

講演会（北九州市国際会議場）

現場が輝くデジタルトランスフォーメーション

～RPA×AI で日本を変える～

UiPath 株式会社 様

### （3）令和4年度 第2回理事会

令和4年10月11日（火曜日）

議案：

・令和4年度の事業実施体制について

ワーキンググループの設置について

・実施事業について

経営者・中堅若手等交流会開催

（賀詞交歓会、セキュリティセミナー等）

## 2 交流会等の開催について

### （1）「中小企業のサイバーセキュリティ対策」

令和4年8月18日（木）北九州市ロボット・DX推進センター

令和4年8月23日（火）COMPASS 小倉

北九州市、北九州産業学術推進機構共催事業を後援

## (2) 賀詞交歓会

令和5年1月20日(金) リーガロイヤルホテル小倉

参加者:36名

北九州市産業経済局理事 池永 紳也 様

新年のご挨拶と北九州市のセキュリティ管理についてなど

## (3) K I P セミナー

令和5年1月20日(金) リーガロイヤルホテル小倉

講演会「2022年の脅威事例から考えるセキュリティ対策」

講師:日本アイ・ビー・エム セキュリティ事業本部 高田 和明 様

理事・ワーキンググループ交流会を開催

## 3 その他の活動の報告

### (1) ホームページ

- ・随時コンテンツを更新

### (2) メーリングリストによる情報提供

- ・九州総合通信局等からの情報提供について、メーリングリストに配信(29件)

## 4 後援・協賛について

協賛(資金等の提供は無し)

「ものづくりフェア 2023」

期日 2023年10月18日(水)～20日(金)

場所 マリンメッセ福岡

主催 日刊工業新聞社

## 5 会員の退会について

株式会社ゼンリンマップテック 様

株式会社アクシス 様

### 会員数の推移

令和5年3月31日現在

※()内の数字は昨年3月31日現在

全会員数	39社 (41)
正会員数	19社 (22)
賛助会員数	20社 (19)

## 令和5年度 KIP 事業計画（案）

### 基本方針

2年以上にわたり猛威を振るった新型コロナウイルスは、インフルエンザ並みの5類管理体制に移行し、KIPの事業実施も従来通りに行える環境となりました。

令和5年度は、このような状況に鑑みKIPは何をなすべきか、しっかり見定めて事業を実施してまいります。

基本事業は、

- 1 人材育成事業
- 2 交流事業
- 3 広報事業

3事業とし、それぞれの分野において、会員企業の主体的な活動により、具体的な成果を目指すものとします。

事業活動の活性化のため、広くKIP事業の有益性をアピールし、新規入会を奨励します。

また、令和4年度に会員有志の若手社員を中心として再結成した、ワーキンググループを活動の軸とし、会員の自主性を基調として事業を推進します。

本年度のK I P事業は、会員企業それぞれに有益であること、非会員企業に対しては、K I Pのパートナーとなることが事業に有益であると認識されることを目的として、以下のように実施します。

## 事業計画

令和5年度のKIP事業は、従来に倣い人材育成事業、交流事業及び広報事業について重点を置くものでありますが、新規会員の加入等をきっかけとする新規事業にも、積極的に取り組みます。また、デジタル・トランスフォーメーション（DX推進）に取り組む、北九州市並びに北九州産業学術推進機構（FAIS）との協力関係をさらに強化します。

### 1. KIP会員を主な対象とする事業

#### ・最新技術等の学習会やセミナー

##### ① セキュリティセミナー

北九州市などと連携したセミナーを実施し、地域におけるセキュリティ対策に取り組めます。また、KIPとしては最新の技術に対応した学習会等を開催します。

##### ② 人材育成

(1) ローコード開発、認証セキュリティ、組込み Linux などの情報を注視し必要とされる講座等の開催を検討します。

##### (2) Python 講座

九州工業大学 我妻 教授の協力により、Python の講座を開催します。このための予算として、80万円の予算を計上しています。詳細は、添付の講座開催要領のとおりです。

なお、今年度は入門編と位置付け、講座の成果を評価して次年度以降の人材育成講座の規範とします。

##### ③ その他

会員からの要望を集約して、有用な各種事業にも取り組みます。

#### ・会員や行政、非会員企業との交流

① 賀詞交歓会等

会員相互の交流、関係団体、行政機関等との情報交換を図るため、賀詞交歓会等を開催します。

② 北九州市等との定期的な意見交換会を実施する。

北九州市のDX推進部門、その他との意見交換会を定期的に行い、ニーズの掘り起こしや課題の検討などを行います。

また、北九州市周辺の自治体等との交流を深め、新たなニーズの掘り起こしの手掛かりとします。

2. 一般のユーザーや市民を対象とするもの

① K I P セミナー

地域経済セミナー

地域の課題や新しい動きなどを、幅広く取り上げ、地域密着型のオープンセミナーを検討します。

多くの方に共鳴いただけるテーマを取り上げ、K I Pについて多くの方の認識を得て、地域における課題解決に貢献するものです。

② I o T ソリューションの提供

「ロボット・DX推進センター」との連携

北九州市が設置し、北九州産業学術推進機構（F A I S）が運営を受託する、「北九州市ロボット・DX推進センター（以下、「センター」という）」と連携し、ワンストップで様々なソリューション等を提供する（添付資料を参照）。K I Pは、センターを利用するにとどまらず、会員の保有するソリュー

ションや人材を活用して、地域のDX推進に貢献するとともに、新たなビジネスモデルの構築を検討します。

### 3. 広報事業

会員企業の人材確保に向けた取り組みの強化などに向け、引き続き広報活動を行います。

また、情報提供としては、メーリングリスト等を活用するなどして、会員にとって有用な情報を提供します。

#### 4. ワーキンググループの運営

これらの事業を円滑かつ、効果的に実施するためワーキンググループによる実行体制を強化します。ワーキンググループは、各事業別に事業担当を割り振るなど、効率的な活動をめざします。ワーキングのメンバー数には限界があるので、活動を進めていくために、会員企業のみではなく、非会員企業との連携も視野に入れます。

## 【その他議案】

### 新入会員について

規約第5条に基づき、令和5年5月26日の理事会において、下記の通り入会を認めたもの。

#### 入会申込事業者

株式会社 onnist

本 社：北九州市小倉北区浅野三丁目8番1号 AIMビル6階

従業員：8名 資本金：200万円 年間売上高：6,000万円

正会員として令和5年4月4日付で入会申請

株式会社 KJR

本 社：福岡市早良区百道浜 福岡SRPセンタービル 309

従業員：8名 資本金：1,000万円 年間売上高：4,890万円

賛助会員として令和5年5月11日付で入会申請

### 会員の退会について

#### 退会事業者

株式会社 YE DIGITAL Kyushu

YE DIGITAL よりバトンを受け KIP へ参加しておりましたが、主体的に貢献できていないため退会させていただくとの、メッセージをいただいております

三菱ケミカルシステム株式会社

三菱ケミカル株式会社との合併によるもの